

J A 金山稻作推進協議会は4月17日、金山町農村環境改善センターで「2019年度・第22回契約栽培米推進大会」を開きました。大会は、産地と関係者が一体となり販売先との契約による信頼産地づくりを進めるのが目的です。

み、さらに全品種・全水田・全生産者を対象に「栽培管理記録表」の記帳運動を継続し、環境保全型稻作を推進いたします。

### 重点課題は3つの推進

- ①金山ブランド米推進
- ②環境保全型米の推進
- ③地域稻作の推進

米比率95%、集荷数量6万5千俵（契約比率98%）の目標を確認しました。

### 特別栽培米・ブランド米栽培・栽培管理記録記帳運動等環境保全型稻作を推進

契約栽培米の体制は、コンビニエンスストアの「ミニトップ米」「はえぬき」「あきたこまち」、酒米（「出羽燐々」「美山錦」）、モチ米（「ヒメノモチ」）が中心。令和元年産米で、1等

また、立地条件を生かした特別栽培米基準の「出羽燐々」（慣行比50%減とする減農薬・減化学肥料栽培）やブランド米栽培基準の「出羽燐々」（GAP認証+シリカタント栽培+低農薬栽培）に取り組

ました。

# 「令和元年度・第22回契約栽培米推進大会」

## 契約栽培米98%・1等米比率95%目標



信頼産地向上へ一体で取り組むとあいさつするJA金山柴田義正組合長



全農東日本米穀販売事業所中崇所長の講演に聞き入る生産者の皆さん

令和元年の重点課題としては①金山ブランド米推進・GAP認証等新たな米づくりの推進と契約栽培米栽培体系の強化とこだわり米の拡大等③地域稻作の推進・栽培体系の強化と稲作作業受託の推進に取り組みます。  
全農山形県本部米穀部米穀内陸推進室の八鍬正浩室長が米情勢を報告。基調講演で全農東日本米穀販売事業所の中崇所長が「全農の取組内容と消費地の情勢」と題して、米の消費傾向の変化や外食・中食産業市場規模の推計などを説明。業務用需要向け契約栽培の提案等を話されました。

この日は、山形「つや姫」の全国トップブランド評価のさらなる浸透をめざし、また、昨年本格デビューした「雪若丸」の高品質・良食味米の安定生産をはかるため、平成31年産「つや姫」生産者認定証及び「雪若丸」生産組織登録証の交付式が行われました。

講演では、「米販売店からみたつや姫・雪若丸の評価」と題して、株式会社シブヤの瀧谷梨絵代表取締役がお話しされました。

今田さんの「つや姫」が県内で最もおいしいお米の中に入選され、とても名誉なことだと思います。

今田さんの「つや姫」が県内で最もおいしいお米の中に入選され、とても名誉なことだと思います。

### 今田政男さん（上台）の「つや姫」

#### 県食味コンクール「優良賞」受賞



優良酒米コンテストで表彰を受ける松澤信矢さん

山形県酒蔵適性米生産振興対策協議会が主催する第21回酒米の里づくりフォーラムの「優良酒米コンテスト」で、持越の松澤信矢さん（J A 金山酒米研究会）の「出羽燐々」がJ A全農山形運営委員会会長賞を受賞いたしました。

工藤晋平開発研究専門員が「東北の酒米開発の事情について」講演し、各酒造好適米の特徴や実績などを話されました。



「つや姫の部」で「優良賞」を受賞した今田政男さん。（後列右から2人目）

